

天王寺しだれ桜 EXPO 環境協議会 設立趣意書

令和 8 年 4 月吉日

【設立の背景】

2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の開催を記念し、令和 7 年 3 月、天王寺公園内・大阪市立美術館の南側という由緒ある地に、高さ 8.5 メートルに及ぶ見事な「天王寺しだれ桜」がライオンズクラブ335複合地区にて移植され2025年6月16日大阪市に贈呈されました。この桜は、万博の精神を未来へつなぐ象徴として植樹されたものです。私たちはこれまで、近隣ライオンズクラブの有志とともに、夏の猛暑期における朝夕 2 回の水やりや、周辺の清掃活動を献身的に継続してまいりました。

【設立の目的】案

ライオンズクラブは単年度制という組織特性を持っておりますが、このしだれ桜がしっかりと大地に根を張り、関西を代表する大樹へと育つためには、今後数年にわたる安定的かつ継続的な手入れが不可欠です。そこで、この活動をライオンズの枠組みを超え、広く一般市民や地域住民を巻き込んだ持続可能な組織とするため、「天王寺しだれ桜 EXPO 環境協議会」を設立いたします。本協議会は、桜の育成を通じて関西・大阪・天王寺公園周辺の環境を保護し、このしだれ桜を「大阪一番のシンボル」として、100 年先の市民からも愛される存在に育てることを目的とします。

【主な活動内容】案

1. 天王寺しだれ桜の維持管理（水やり、施肥、剪定等の専門的支援、および健全な生育の監視）
2. 天王寺公園周辺の環境整備（しだれ桜周辺の清掃、ゴミ拾い、環境保護に関する啓発活動）
3. 地域交流およびイベントの開催（桜を通じた交流会、環境学習会、万博のレガシーを伝える文化イベント等）

私たちは、この桜の下に多様な人々が集い、次世代へ豊かな環境と万博の記憶を引き継いでいくことを誓い、ここに本協議会の設立を宣言いたします。